

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2021. 7. 15 NO. 312

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



## ワクチンが足りない！予約受付が停止に！

### ワクチン供給不足 すでに2回目接種難民が発生

7月14日、杉並区は、新型コロナウイルスワクチン予約について「現在、予約受付枠の空きがありません」との見出しで、新規の予約受付停止をホームページで発表しました。

国からのワクチン供給が減少したことが原因です。国はワクチン確保に全力をあげ、供給見通しを自治体に早く示すべきです。

さらに問題となるのが、いわゆる「2回目接種難民」が発生することです。

党区議団には、1回目の接種を完了した高齢者から、2回目の予約ができないという相談が相次いで寄せられ、6週間後までに2回目の接種が困難な高齢者がすでに発生しています。この点では、区の責任が問われます。

区はこの間、ワクチン接種の予約方法を変更し、当初は1回目接種を終えてからでなければ2回目の

### 区ホームページに掲載されたお知らせ

現在、予約受付枠の空きがありません  
(キャンセル分を除く)

本日7月14日より、40歳～59歳の方の接種受け付けを開始しましたが、午後2時現在、予定している全ての予約枠が埋まり、新規の予約受け付けができません(キャンセルが出た場合には、数件、予約枠ができることはあります)。

これは、国から供給されるべきワクチン量が大幅に減少し、当初予定の予約枠を制限せざるを得なくなったことによるものです(ワクチン供給の状況等については、追って掲載します)。

今後の予約については、国からのワクチン供給量が明らかになり次第、ホームページ等でお知らせします。

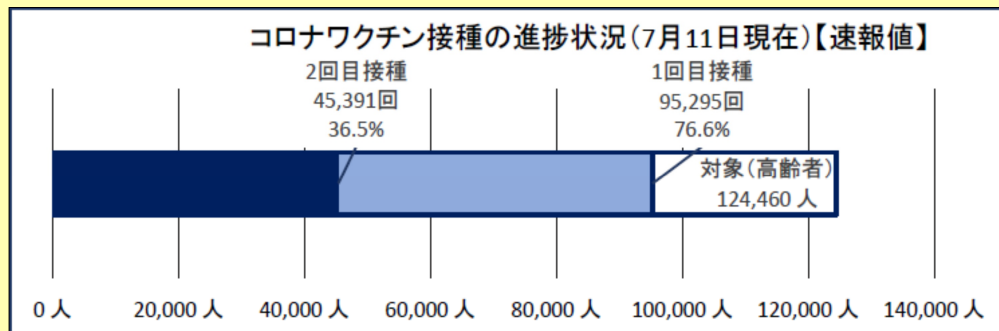
予約が行えなかったところ、1度で2回分の予約が行えるよう変更しました。その際、1回目の予約しか取れていない高齢者へのサポートを行わないまま高齢者以外の予約開始を前倒したことで、2回目の予約ができない高齢者が取り残される事態を招いてしまったのです。

早急に接種体制を整備するよう、区に改善を迫っていきます。

### コロナワクチン接種の進捗状況(7月11日現在)【速報値】

対象	対象者数	1回目接種回数・接種率	2回目接種回数・接種率
高齢者(65歳以上)	124,460人	95,295回 76.6%	45,391回 36.5%

(注) 対象者は65歳以上の方向けのクーポン券発送数です。



(区ホームページより)

# 子どものオリンピック動員 中止が決定！

## 党区議団、2度にわたり申し入れ

東京オリンピックに児童生徒を動員する学校連携観戦について、東京都教育委員会は9日中止を決定しました。パラリンピック観戦については、オリンピック閉会後に検討するとしています。

学校連携観戦は、密集する電車での長距離移動、競技場での

長時間にわたる観戦によって、児童生徒を感染や熱中症の危険にさらすことから批判が高まり、取りやめる自治体が相次いでいました。

日本共産党杉並区議団は、第2回定例会の一般質問、文教委員会で中止を求め、6月23日、7月8日の2度にわたり、教育長への申し入れを実施。

教育長は、感染のリスクを認め、総合的に判断すると答えましたが、結局、都教委の決定にゆだねる結果となりました。

## パラリンピック観戦も中止の決断を

都教委の決定以前に、学校独自に中止を決定した小中学校は7日時点で28校。さらに都教委の決定を受けて多くの小中学校で観戦動員はなくなりました。しかし、パラリンピック観戦については中止しておらず、区教委は学校の意向を聞いて検討するとしています。

党区議団は、学校の判断にゆだねるのではなく、区教委として中止を決断するよう、引き続き求めていきます。

## 国保料 値上げ通知に2千件近い問い合わせ

### 高い保険料通知に問い合わせ殺到

6月15日、今年度の国民健康保険料の通知が国保加入世帯にいつせいに郵送されました。

高い保険料通知に多くの方が驚かれたと思いますが、区民からの問い合わせが、来庁、電話あわせて8日間で1885件に上ったことがわかりました。

### 国保料の引き下げ、子どもの均等割り廃止を目指して

「助けてください。国民健康保険料が払えません」これは、区民の方から私に寄せられたメールです。

税や、保険料のなかでも、国保料の値上げは異常です。保険料の値上げは2002年から20年連続値上げ。年収300万円40歳以上3人家族の世帯では、年額37万7千円、収入の13%が国保料。住民税、国民年金保険料あわせると年額84万円4千円。まさに保険料が家計を押しつぶす事態です。

都議選でも、国保問題の訴えは強い反響がありました。来年は区長選挙、再来年は区議選です。国保料引き下げ、子どもの均等割り廃止をめざし全力をあげます。



7月8日、教育長への申し入れ